○ ○ 邸 補 強 壁 仕 様 表

階	X座標		Y座標		補強壁番号	土塗り壁(塗厚70～90)横架材まで達する	木ずり下地モルタル塗り壁	筋かい30×90(釘打ち仕様)片筋(両筋)	筋かい30×90(BP同等仕様)片筋(両筋)	筋交い45×90(BP-2同等仕様)	石膏ボード張り(厚9以上)	合板(厚3以上)	構造用合板(耐力壁仕様)片面(両面)	壁基準耐力	基礎仕様	接合部仕様	補強位置	長壁(○)
	左	右	下	上		3.5	2.2	1.9(3.8)	2.4(4.8)	3.2	1.1	0.9	5.2(10.4)					
1階	0.0	1.0	12.0		HW1		2.2		2.4				5.2	9.8	I	I	押入内	
	9.0	10.5	12.0		HW2								10.4	10.0	I	I	押入外	○
	4.0		5.0	6.0	HW3				2.4				10.4	10.0	I	I	外壁	
	6.0		5.0	6.0	HW4						1.1		10.4	10.0	I	I	押入内＋押入内	
	10.5		0.0	2.0	HW5		2.2						5.2	7.4	I	I	押入内＋押入外	○
	8.0		3.0	4.0	HW6						1.1		5.2	6.3	I	I	押入外＋押入外	
2階	0.0	1.0	10.0		HW1		2.2		2.4		1.1			5.7		I	金物のみ	
	9.0	10.0	10.0		HW2		2.2				1.1			3.3		I	金物のみ	

※ 「補強位置」はリストから選んで下さい。

※ 「長壁」覧には補強壁が長壁の場合は、リストから○を選んで下さい。これにより、長壁数を自動計算します。

※ 壁基準耐力は自動計算しますので、セルの数式を削除しないで下さい。（10.0を超える場合は10.0とします。）

※ 補強壁仕様は適宜書き替えて下さい。補強壁仕様の数が不足する場合は列挿入して下さい。

※ 表は補強壁数に合わせて、行削除または行挿入してお使い下さい。

※ 概算内訳書の『金物のみによる補強』欄には、壁数ではなく金物を設置する柱及び筋かいの本数で計上して下さい。

押入内 壁数	1	押入内＋押入内 壁数	1
押入外 壁数	1	押入内＋押入外 壁数	1
外壁 壁数	1	押入外＋押入外 壁数	1
		外壁＋押入内 壁数	0
長壁数	2	外壁＋押入外 壁数	0
金物のみ 壁数	2	補強壁総数	6